



保健だより 11月号

令和2年11月2日(月) 八千代保育園



昨年同様、先月は寒暖の差で体調を崩すお子さんが多く見受けられました。これから本格的な冬に向け、インフルエンザや胃腸炎等の、感染症が流行る季節です。新型コロナウイルスもまだまだ気を付けていかなければならない状況です。

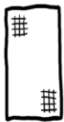
当園では厚労省の感染症ガイドラインを参考に特に、発熱に関しては解熱後 24 時間以上経過してからの、登園をお願いしています。また、現在コロナ禍において発熱基準を 37.5℃にしています。しばらくの間はこの基準になりますので、何卒ご了承下さい。(※園のしおりの中の、『保健のしおり』の 2 ページもご参照下さい。)

やはり『健康第一』です。

この時期に限りませんが、子どもの感染症は流行してしまうと子どもも大人も大変です。一昨年はノロウイルスが園内にあったという間に広がったこともありました。

体調が優れないなあ…と思ったら、お忙しいと思いますが、早めの受診をお勧めします。また、もしもの時の為に、病児保育やファミリーサポート等の登録・手配もお勧めします。

職員一同、引き続き感染対策を行っていきます。ご理解ご協力をお願い致します。



絆創膏について…

子どもは、虫刺されや、ひじやひざを擦り剥いたり、これからの季節は、乾燥してあかぎれになったりと、絆創膏を使うシーンがたくさんあります。

今回は効果を高めるためのコツをご紹介します。

1. 貼る前に患部は水で洗い流し、汚れや雑菌を取り除く。
清潔なティッシュ等で水分をしっかりと取り、ある程度止血する。
2. 絆創膏は中央からそっと貼る。引っ張り過ぎると肌に負担がかかり、かぶれの原因になることもあります。
3. 屈伸する箇所は曲げて貼ります。皮膚を最大限伸ばした状態で貼ると、剥がれにくいそうです。
4. 重ね貼りは、隙間から雑菌が入る恐れもある為、傷の大きさや患部の形にあった絆創膏を貼ると良いです。
5. 1日に1回は貼り替えましょう!!!

くれぐれも細菌の繁殖によるかぶれに注意しましょう。

(水で濡れてしまった場合は、すぐに貼り替えましょう。)

